

「地域課題分野」(平成25年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河川感潮域におけるガタ土堆積抑制と適正な植生管理に向けた実証実験（研究期間：H25年～H26年）	佐賀大学 山西 博幸	B
<p>＜研究概要＞</p> <p>本研究は、強混合型感潮河川である六角川水系牛津川の高水敷に広がるヨシ原の植生管理のため、新たな河川工作物の提案とその実証実験を通して、河道管理と河川環境の保全を目指したものである。これまでの知見に基づき、4つの貯水トレンチを考案・施工し、2年間にわたってモニタリングを行った。その結果、貯水トレンチの植生繁茂抑制としての有効性を示すとともに、機能保持には、一定水位が必要であることを示した。また、トレンチ内のガタ土堆積の簡易予測式に基づくトレンチタイプ別の堆積特性を明らかにし、流入土砂の管理のための囲いや地盤高を考慮した現場施工の必要性を示した。さらに、貯水トレンチによる水生生物の生息場としての可能性とその機能評価、ヨシ流出の観点から、系外流出しやすい管理区でのヨシ刈取りと併せたトレンチ設置の提案を行った。</p>		
<p>貯水トレンチの現地実証から、その機能と効果及び実用化に向けての課題の抽出がされていることから、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと言える。</p> <p>しかしながら、ガタ土のトレンチ内への堆積特性について、含水比などのパラメータの合理的な設定に加え、水文学的、水理学的な考察を深めることが必要であったと考えられる。</p> <p>今後は、上記に加え、潮の干満に伴う流動など自然の営力を利用して人の手を介さない方法も検討し、実用化に向けて研究を進展させるとよい。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い